

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 403 (3436) 1311
編集口座 00190-7-38825番
代表取締役 木村玄一
大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂
島2-2-23 白雲ビル 406 (8341) 3997
週刊・毎週金曜日発行
1冊 330円(税込)
購読料 1年間 15,400円(税込)
www.nirin.co.jp

雑誌掲載記事集

2021年4-6月 SYM

1. オンラインショップ開設
2. ステップスルー式でありながらこのスポーティーさは天晴！ (DRG BT紹介)
3. ラインアップ紹介
モデル紹介
- 4-5. 150ccクラスの発祥と人気の理由を考察する (DRG BT紹介)
5. ニューモデル紹介 (Orbit & Orbit III)

二輪車新聞 5月14日号
U4 4月号
U4 4月号
U4 6月号
U4 6月号
U4 6月号

オンラインショップ開設
モーターリスト

伊スクーター「ランプレッタ」やモーターサイクルの「ファンティック」、バイクアパレルブランド「バンドモト」などの輸入販売元であるモ



オンラインショップ画面

「タリスト合同会社は、取り扱いブランドのアパレルやオフショナパーツ製品などのオンラインショップを開設し販売を始

めた。

オンラインショップは同社オフィシャルサイト内に開設。オンラインショップで販売するブランドは、モーターリストが取り扱う車両メーカー「ランプレッタ」「ファンティック」のアパレルやオフショナパーツ、安全性や機能性、デザインを重視したヨーロッパ発のバイクアパレルブランド「PANDOMO」(バンドモト)、伊

オフロードブーツのキッズモデルやフラットトラックに特化した「TCX」、英カーボンセシヤリスト「EDGECOMPOSITES」(エッジコンポジット)、シンブルなデザインでどのようなオートバイにも合わせやすい防水バッグを展開する「ITPL」、海外オートバイメーカーの純正外装にも採用された実績のある伊オフロードブランド「ACERB

「IS」(アチェルビス)、潤滑油の「MOTUL」の製品。

ブランド別に価格と在庫状況が確認でき、支払は代金引換、クレジットも利用可能。今後はPayの導入やファンティックのE-BIKEも購入できるようにする。

モーターリストの公式ウェブサイトは次のとおり。
<https://motorists.jp/>

SYM JOYMAX Z250



U4
(クレタ)
21年4月号

SYM CRUISYM250



より高級感と快適性が高く
ツーリング派にオススメ!

ジョイマックスZ250とエンジンや車体まわりは共通となるものの、シャープなデザインの外装パーツをはじめ、デュアルヘッドライトやビルドインインカータイプのミラーなど、高級感が高められているのがクルージム250だ。車重はジョイマックスZ250より重くなっているが、逆に安定感が高く、長距離・長時間走行をするライダーにオススメだ。

SPEC. ●全長×全幅×全高:2,175×760×1,440 (mm) ●軸間距離:1,550mm ●シート高:1mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒・249.4cc ●最高出力:15.8kW (21.4ps) /7,500rpm ●最大トルク:23.5N・m (2.3kgf・m) /5,500rpm ●燃料タンク容量:12ℓ ●タイヤサイズ:F=120/70-14・R=140/60-13 ●価格:64万9,000円 (税10%込)

U4
(クレタ)
21年6月号

CRUISYM250

SPEC. ●全長×全幅×全高:2,175×760×1,440 (mm) ●軸間距離:1,550mm ●シート高:1mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒・249.4cc ●最高出力:15.8kW (21.4ps) /7,500rpm ●最大トルク:23.5N・m (2.3kgf・m) /5,500rpm ●燃料タンク容量:12ℓ ●タイヤサイズ:F=120/70-14・R=140/60-13 ●価格:64万9,000円 (税込)



SYM JET S



スポーツを意識した
台湾スクーター

台湾はフラットフロアの需要が高いのだろう。スポーツを意識したジェットSもフラットなフロアボードが採用される。オービットⅢ125よりもパワフルな空冷OHC4バルブエンジンが与えられ、前後12インチホイールと相まって鋭い走りが期待できる。また安全面を考慮してABSが装備される。USBソケット装備など、利便性も抜かりない。

SPEC. ●全長×全幅×全高:1,813×705×1,095 (mm) ●軸間距離:1,286mm ●シート高:1mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストロークOHC4バルブ単気筒・124.65cc ●最高出力:8.5kW (11.5ps) /6,500rpm ●最大トルク:10.1N・m (1.0kgf・m) /6,500rpm ●燃料タンク容量:6.8ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:31万8,000円 (税10%込)

SYM ORBITⅢ125



SPEC. ●全長×全幅×全高:1,915×680×1,125 (mm) ●軸間距離:1,290mm ●シート高:1mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストローク2バルブ単気筒・125cc ●最高出力:7.5kW (10.1ps) /8,500rpm ●最大トルク:9.3N・m (0.94kgf・m) /6,500rpm ●燃料タンク容量:5.7ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:22万5,500～23万5,500円 (税10%込)

コストパフォーマンスに
すぐれた1台

スクーター大国台湾のブランドSYMは多数のスクーターをラインナップしており、モーターリスト合同会社がその一部を日本で取り扱っている。その中でコストパフォーマンスが高く、気軽に乗り回せるモデルがオービットⅢ125だ。フラットフロアで乗降車しやすい、前後12インチタイヤでキビキビと街中を走り回れる。前後連動ブレーキを採用。

SYM ORBITⅢ 50



安定感の高い走りがキラリと光る

スクーター大国台湾のブランドSYMのオービットⅢ50のベースは原付二種なので、原付一種としては大柄な車体サイズで所有感が高い。また前後12インチホイールなどの装備で安定した走りが楽しめるだろう。ただしこちらのモデルは吸気系がキャブレターとなり、125のようにCBS(前後連動ブレーキ)は装備されていない。

SPEC. ●全長×全幅×全高:1,915×680×1,125 (mm) ●軸間距離:1,290mm ●シート高:1mm ●車両重量:1kg ●エンジン型式・排気量:空冷4ストローク2バルブ単気筒・50cc ●最高出力:2.6kW (3.5ps) /7,500rpm ●最大トルク:3.4N・m (0.34kgf・m) /6,500rpm ●燃料タンク容量:5.7ℓ ●タイヤサイズ:F=110/70-12・R=120/70-12 ●価格:16万5,000～17万6,000円 (税10%込)

コストパフォーマンスの高さが
光るビッグスクーター

ビッグスクーターブーム末期はラグジュアリーなモデルが多く、価格は高騰化していった。そのころに比べると税込で50万円を切る価格のジョイマックスZ250はコストパフォーマンスが高いといえる。ただ価格が抑えられているからといって性能を犠牲にしているわけではない。センタートンネルを持つしっかりとした車体に、扱いやすい水冷単気筒エンジンを搭載。街中から高速道路、ワインディングで、ゆったりとクルージングが楽しめる。

SPEC. ●全長×全幅×全高:2,190×760×1,450 (mm) ●軸間距離:1,546mm ●シート高:1mm ●車両重量:9kg ●エンジン型式・排気量:水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒・249.4cc ●最高出力:15.8kW (21.4ps) /7,500rpm ●最大トルク:23.5N・m (2.3kgf・m) /5,500rpm ●燃料タンク容量:12ℓ ●タイヤサイズ:F=120/70-14・R=140/60-13 ●価格:49万5,000円 (税10%込)

SYM

ラグジュアリーさを優先するか
コストパフォーマンスを重視するか

台湾のスクーターブランド“エス・ワイ・エム”は、過去に日本市場にも導入されていたが、一時期空白期間が存在した。2020年に入ってからエス・ワイ・エムのすべてのモデルではないが再び導入が始まり、現在はモーターリストが取り扱う。250ccクラスのいわゆるビッグスクーターは2機種となる。水冷単気筒エンジンやフレームなどは共通となるが、デュアルヘッドライトやビルドインインカータイプのミラーなど、高級感が高められているのがクルージム250。一方、コストパフォーマンスを追求したのがジョイマックスZ250になる。どちらもセンタートンネルを採用するので、しっかりとした走りを楽しめるモデルだ。

JOYMAX Z250

SPEC. ●全長×全幅×全高:2,190×760×1,450 (mm) ●軸間距離:1,546mm ●シート高:1mm ●車両重量:9kg ●エンジン型式・排気量:水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒・249.4cc ●最高出力:15.8kW (21.4ps) /7,500rpm ●最大トルク:23.5N・m (2.3kgf・m) /5,500rpm ●燃料タンク容量:12ℓ ●タイヤサイズ:F=120/70-14・R=140/60-13 ●価格:49万5,000円 (税10%込)



**U4
(クレタ)
21年6月号**

DRG BTのソフト面をチェック

身長：163cm 体重：57kg



乗車姿勢

上半身は直立してリラックスでき、ハンドル位置も自然。軽二輪クラスでは希少なステップスルータイプのフロアボードなのは好ポイントなのだが、そのぶんステップボードが高く、ヒザの曲がり気になった



足つき性

シート高がかなり高いため、そのうちソール部分が広めで、シタが厚いこともあり、足が広がらなくてしむので足つき性はよくない。もちろんスクーターなので、着座位置を前方にすれば多少緩和は可能



取りまわし

スクーターは腰で車体を支えにくく、押し歩き時に感じる場合があるが、DRG BTはシート高が高いため、比較的腰で支えやすい。車重も重くないので、手だけで押しても問題なく取りまわせた



Uターン

ハンドル切れ角は平均的だが、ホイールが小径なので制転半径は小さい。エンジンのレスポンスは鋭いが、エンストする心配がないVATミッションだから、リヤブレーキを使ってうまく低速を維持すればいい



シートとエンジンの間に大きな空間が作られた。DRG BT独特のデザインが新鮮だ。この特徴的な形状を採用しながら、シート下のタンクスペースの容積は十分に確保されている。

走らせる「エンジン特性にパンチがあつてもいい」。加速力はクラス最強レベルでゼロ発進で思い切り全開にしたラフロードが持ちこたってきた。昔のビキナ2ストロークエンジンのスクーターならいともせず、そこそこ重量のある4ストロークエンジン搭載車でコレはめずらしい。加速のよさは発進だけでなく、60km/hまでの常用域はすべてカバーする。これは速い！250ccまで含めた軽二輪クラススクーター全体で見てもトップクラスだ。

この加速力、エンジンパワーだけに頼ったものではない。まだ、高速道路に乗るときの速度上昇にも不満を感じないのだが、100km/hに達するところから上がなかなか伸びない。ミッションが0km/h→100km/hの速度域に最適化されている。こういう割り切った設計は好きだ。150ccが発生できるパワーは限られている。

技術的には平均点・U4編集長「吉田」が斬る

125ccよりも余裕! 250ccよりも気軽!!

以前、KSR110を所有していたことがある。コンパクトな車体に、街乗りでスムーズに交通の流れに乗れるパワー。日常の足としては十分に活用できた。が、手放した。仕事柄、高速道路を使ってバイクで移動することが多く、乗る機会が減っていたから。中間排気量車は125ccで乗れない高速道路に乗れるというメリットがある。それに加えてプラス20~30ccが余裕の走りを生んでくれるのも魅力。一方250ccフルサイズと比べるとアンダーパワーは否めないが、それをカバーする気軽さがある。とくに取りまわしのしやすさは「もっと積極的に乗ろう」という気にさせてくれる。ビギナーが練習用を選ぶのもいいし、ベテランがセカンドバイクとして選ぶのもありだと思う。

軽さのジクサー・パンチカのDRG BT

SYM モーターリスト合同会社
03-3731-2388
<https://www.sym-jp.com/>

ORBIT III 125/50

●価格/発売日:125 = 25万3,000円/発売中
50 = 22万5,500円/発売中

ユーロ5に対応させるべく手を加える

オービットスリーはエス・ワイ・エムが日本市場に復帰した際に発売が開始されたモデルで、前後12インチホイールや空冷エンジンを搭載したスモールスクーターだ。125ccと50ccがラインナップされていたが、今回ユーロ5をクリアするためバージョンアップされている(とくに50は吸気系がキャブレターからフェューエルインジェクションに)。またそれまでの5色(マットブラック/イエロー・ブラック・ホワイト・マットブラック・ブルー/レッド)に加えて、落ち着いた雰囲気グレーも追加された。



ORBIT50

●価格/発売日:16万2,800円/発売中

リーズナブルな価格が魅力の原付一種

台湾のブランド「エス・ワイ・エム」が日本市場に向けて、本国でシンプリー125として販売されていた車両をモディファイし「オービット50」をリリース。日本で入手可能な50ccスクーターの中で、もっともリーズナブルな価格だが、リヤキャリアや50ccとしては十分なシート下の収納スペースなど、基本的なポイントは押さえられているのが魅力の1台。カラーは白・赤・青・銀・黒の5色から選択可能だ。

